

豊かな長寿社会を実現するために

いたまい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会

[編集委員] 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、菊池巧

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

ごあいさつ



茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

茨城県福祉サービス振興会の皆様方には、日頃より県政の推進に多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新年の始まりにあたり、少子高齢化や第4次産業革命、グローバル化など、日本を取り巻く環境が激変する中で、まさに今、本県は将来を決める大きな歴史の転換点にいるとの思いを強くしています。厳しい競争に打ち勝ち、生き残り、将来に向かって本県をさらに飛躍させるため、昨年末策定した県総合計画の基本理



一般社団法人
茨城県福祉サービス振興会
会長 鈴木 一良

明けましておめでとうございます。お健やかに平成31年の新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。豊かで安心して生活できる高齢社会の実現に向けて活動している一般社団法人茨城県福祉サービス振興会に対して、日頃よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、景気は穏やかな回復傾向にあると言われ、また、介護士の数は、年々増加しているものの、需要の高まりに追いついていない現状であります。このままでは、2025年には37・7万人不足することが予想されています。依然として、人材確保に苦慮する日々が続きそうです。

こうした状況下、介護人材の確保を後押しするための、新制度が平成31年4月から実施となります。

これまで、「単純労働」とされる分野での外国人就労は原

則禁止されましたが、新たな在留資格を創設して、そうした分野でも「労働者」として正式に受け入れることとなります。すでに介護分野では外国人人材の受け入れを始めており、外国人労働者が増えることとなります。

当振興会の事業としまして、昨年度から新たに開始しました要介護認定調査事業に関しては、受託件数も増加傾向にあります。引き続き、関係市町村担当者の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。また、講座・研修事業に関しては、茨城県、会員事業所の要望を取り入れ、県民、介護職、リーダー・管理職向けに、また、専門研修、医療講座、など各階層、各分野にわたって幅広く充実させたいと考えております。

本年度も茨城県をはじめ関係団体と連携を図り、存在意義のある団体として引き続き役職員一丸となって努力する所存でございます。

会員の皆様には、厳しい業界環境であります、当振興会の事業運営にご支援ご協力を願い申し上げますと共に、より一層地域に密着した企業としてご活躍されることを祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、果敢に挑戦してまいります。

医療・福祉分野におきましては、医師確保をはじめとした医療従事者や介護福祉人材の確保、人生百年時代を見据えた健康づくりなど、新しい安心安全へのチャレンジに取り組んでまいります。

このような挑戦には、行政だけでなく、本県に関わる全ての皆様と県政の方向性を共有し、それぞれが「自分のこと」として考え、行動していただくことも必要です。

県民の皆様と一緒に步みを進め、活力ある新しい茨城づくりに「猛進」してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力を願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

持ち上げない介護を目指して

～腰に負担をかけない介護の実践～

りがゆうりかしてしまわ。



このため介護現場での腰痛予防対策の重要性を啓発とともに、負担のかからぬ介護技術や、移動・移乗におけるリフト等福祉機器の積極的な活用などについて理解と普及をより深め、組織的に腰痛予防対策の実践を進める目的として講演会を開催しました。

2. 内容

第一部 講演 「科学的見地からみた職業

開会に先立ちましてははじめに、当振興会議上野副会長、県健康長寿福祉課の杉山課長、茨城労働局健康安全課大津主任専門官が、腰痛予防は重要課題であり予防対策の普及を図らなければならない。この講演会を通して腰痛予防の理解と認識を深めて頂きたいと挨拶の中で訴えました。

平成30年12月6日（木）茨城県総合福祉会館1階「ミュニティホール」において、茨城県（一社）茨城県福祉サービス振興会の主催で「茨城県腰痛予防講演会・取り組み事例報告会」が開催されました。

1.

「茨城県介護職員腰痛予防対策推進事業」として腰痛予防研修、リフトリーダー養成研修や腰痛予防指導者育成研修等の取り組みにより、介護現場における腰痛予防の推進を図っています。また、組織的・積極的に腰痛予防対策に取り組む、高齢者施設を「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」として指定しています。

三

第3部 報告 「サン豊浦における腰痛予防対策の取り組みについて」 社会福祉法人 日立高寿園 特別養護老人ホーム サン豊浦 看護師 村田 純氏 介護副主任 平川 明美氏

第4部 講演 「魅力ある職場で介護のイメージを変えよう! 抱え上げない介護推進チームのススメ」 講師 社会福

3. 対象者

介護関係事業所の管理者、介護従事者等

4. 講演後の感想

- ・講演を聞いての感想では、
- ・腰痛に対する基本的なことや、腰痛を予防する動作について理解できた。
- ・経験のないスタッフとして働いている

が、ノーリフティングの方法を学べば負担が減ると思った。

変化ありの理由については

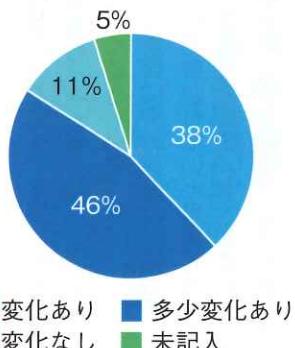
変化あり38%、多少変化ありが46%、
変化なし11%、未記入5%でした。

講演会に参加して、「腰痛予防対策について気持ちの変化について」の、問い合わせ

福祉機器アモについては、最新の福祉機器を知ったり、体験できて良かった。

知つた。

腰痛予防対策について気持ちの変化



リフトに対してあまり前向きな印象がありませんでしたが、講演を聞いて利用者にも介護者にも必要なものと感じた。腰痛に対する対策や委員会の進め方、委員の選定等を聞いて良かった。さらに委員会を立ちあげても継続の難しさを

積極的に腰痛に対する認識を伝えていこうと考えました。実際に自分の施設でも動いていくつとthought。

多少変化ありの理由については、腰痛予防をすることと、業務にも前向きに取り組めるような気がした。

上司に話して、職員の意識を高めていたらと思った。福祉用具の購入など、施設で検討してもらえるよう努力したい。

リフトやボードに興味がもてた。体操



の大きさを理解した。
取り組んで行かなくてはと思っていた。
が、これから積極的に取組もうと思った。

変化なしの理由については、

福祉用具を使って時間をかけても、抱え上げない＝働きやすいに繋がるとは思えない。

機器を使わないと腰痛防止できない。施設では機器が普及することはないので。

5.まとめ

腰痛予防講演会に参加した8割の方が、腰痛予防の必要性を感じて頂き、何らかの行動を起こすと気持ちが動いたことは、講演会の目的がある程度達成したも

のと感じています。

引き続き、腰痛予報の大切さを訴えて、理解と普及を広めていきたいです。

下期の催し予定

新春講演会・新年賀詞交換会

「新春講演会」

日時 平成31年1月23日（水）

午後4時から

場所 水戸京成ホテル3階 翡翠の間
演題 「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会に向けて」

講師 茨城県国体・障害者スポーツ大

会局 局長 石田 奈緒子 氏

新年賀詞交換会

日時 平成31年3月11日（月）
午後5時から 11階 オーキッド

介護保険制度講演会

場所 茨城県総合福祉会館1階
内容 「平成30年度介護保険報酬改定と今後の課題」（仮題）
講師 茨城県保健福祉部

講演II 「新たな外国人材の受入れ
制度について」（仮題）
講師 茨城県保健福祉部

講師 一般社団法人シルバー
サービス振興会

会・員・事・業・所・訪・問

要介護認定調査業務を受託します。

弊会（一社）茨城県福祉サービス振興会は、茨城県から要介護認定調査に係る「指定市町村事務受託法人」の指定を、平成29年1月13日付け長福指令第232号をもって、受けております。
要介護認定調査業務を下記により受託しますので、ぜひ、ご活用下さい。

記

1 調査地域の範囲

茨城県内全域

（当面は水戸市及びその周辺市町）

* 水戸市及びその周辺市町以外の市町村に住民登録されているが、水戸市及びその周辺市町にお住まい、お

暮しの方の認定調査も受託します。

2 調査の対象者（在宅、施設）

新たに要介護の認定を受ける方及び更新をされる方

3 調査費用

調査1件当たり60000円（税別）

4 その他

詳細内容等の問い合わせは、左記にご連絡下さい。

詳細は、ホームページhttp://ibaraki-shinkoukai.jpをご覧ください。

ケアホーム テンダーの杜なか

ケアホーム テンダーの杜つだ
ディサービスセンター テンダーの杜つだ

住所：茨城県水戸市笠原町1375-1
TEL：029-239-5377 FAX：029-239-5378
代表者：鳴坂 淳 設立：平成9年11月
ホームページ：<http://www.helpercall.com/>
<http://www.tendercare.jp/>（テンダー福祉学院）
Eメール：support@helpercall.com

株式会社テンダーケアジャパン

人ひとりにあつたやさしい介護」の提供を心がけ、その人らしい生活を支援できるような介護サービスを目指し、日々努めています。

これからも私たちは、地域社会の一員として、「いつもあなたのすぐそばに」をモットーに、すべてのお客様にご満足いただける、最高のサービスを提供していくことに日々努力と研鑽を惜しません。そして、皆さまの地域の、更には、我が国の介護サービスの未来に向け、一翼を担えるよう邁進していきたいと思います。今後とも、テンダーケアジャパンをよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

■支店・施設

■在宅介護事業

ヘルパー・コール水戸ケアセンター
ヘルパー・コール高萩ケアセンター
訪問介護きらり

■施設介護事業

ケアホーム テンダーの杜つだ
ケアホーム テンダーの杜なか
ディサービスセンター テンダーの杜つだ
介護予防ディサービスセンター 元気
はつらつ館

株式会社テンダーケアジャパンでは、創業当時から、すべてのお客様に住み慣れた地域で自分らしく、安心した生活を送っていただきたいという思いから、「みなさまのまちの介護サービス」としての存在を提唱してまいりました。そして「

■人材育成事業
テンダー福祉学院

福祉用具展示ホールのご案内



** 茨城県内唯一で最大の 福祉機器展示ホール **

展示ホールでは、福祉用具専門相談員が常駐し、相談（電話相談も）をお受けしております。

一階特設コーナー展示予定

- 12月：移動用リフト
- 1月：ポータブルトイレ
- 2月：杖
- 3月：会員月間

常設展示



- ・介護用ベッド、車イス、杖、介護用品等の約350点展示
- ・モデルルーム（階段昇降機、浴室、

4月：会員月間
5月：介護用ベット

洗面、手すり）の展示
介護ロボット12機種の展示

一階、二階フロアの展示
場では、福祉機器・用具の使
用方法等をDVD放映中



お問い合わせ先
電話 029(244)4425
(社)茨城県福祉サービス振興会
展示・相談担当まで

● 節句は季節の節目に五穀豊穣、無病息災、子孫繁栄などを祈り、神様へお供え物をしたり、邪氣を祓つたりする行事のこととされています。
「七草」「桃」「菖蒲」「笹」「菊」の節句がそれに当たります。
日本では奈良時代から始まっている五節句、意味や由来を知つたら、年中行事もいっそう楽しめるかもしれませんね。

清水

編集後記

編集後記

会館時間 9時～17時
休館日 土・日・祝日、年末年始
(但し、予約の場合可)
場所 茨城県総合福祉会館
一階・二階（事務室）
地
水戸市千波町1918番